

成長実現に向けた3つの取組(大胆、迅速、進化)

第1:「長年の懸案」を**大胆**に解決

- 長い間指摘されながら、棚上げになっていた「長年の懸案」である、TPP交渉への参加、待機児童解消、総合科学技術会議の司令塔機能強化、日本版NIHの創設、国立大学改革、農地集約化などについて、抜本的な対策を大胆に決断し、実行に移す。

第2: 前例のないスピードによる**迅速**な政策の実行

- 年度単位で施策を決定・実施する通例にとらわれず、法律、税制など、早期に実現すべきものは、まず、8月末までに詳細を明らかにし、準備が整い次第、迅速に実行に移す。

第3: 常に**進化**し続ける成長戦略

- 成果目標(KPI)を具体的に定め、その確実な達成を図るため、その状況を厳しく検証し、柔軟に施策を見直す「常に進化し続ける成長戦略」とする。
- 改革に終わりはなく、更なる高みを目指して、残った課題について秋以降も引き続き取り組む。